

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	作品をホールや居室に掲示している状態なので外部に出品する機会が必要。又、地域交流も少ない。	地域の文化祭や公共施設、法人内の他事業所に出向き、地域の方々との交流を深め、ご利用者の意欲向上に努める。	地域のボランティア講師を招き、定期的な書道教室の実施。 文化祭(地域、法人内他事業所)へ出品する。	12か月
2	33	利用開始時に利用者、ご家族に対して「重度化や終末期のケアなどについての事業所としての指針」を示し説明がなされることが望ましいと思われる。	重度化した場合や終末期の在り方を出来るだけ早い段階から利用者やご家族と話し合い、方針を共有するとともに、利用者の状態の変化の度に家族や関係者で話し合い、意向を確認する。そして利用者のかかりつけ医と連携を図っていく。	利用者や家族と早い段階から話し合い意向を確認してきた。今後、かかりつけ医との連携を強化し、次の入所先の働きかけをしていく。	これまでも取り組んで来たが今後も努力していく。
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。